

たび

～近江八幡満喫～
1泊2日 モデルコース

先人たちの軌跡を辿る 歴史ロマンコース

1日目 >>
JR安土駅 — 安土城郭資料館 — 安土城跡 — (昼食) — 県立安土城考古博物館・安土城天主信長の館 — 沙沙貴神社 — 市内宿泊地

2日目 >>
宿泊地出発 — 池田町洋風住宅街 — 市立資料館 — 八幡堀 — 日牟禮八幡宮 — (昼食) — 水郷めぐり — 柳記念館(ヴァーリス記念館) — 旧八幡郵便局 — ボーダレス・アートミュージアムNO-MA — JR近江八幡駅

近江の祈りのみち 古社寺巡礼コース

1日目 >>
JR近江八幡駅 — 本願寺八幡別院 — 市立資料館 — 八幡堀 — (昼食) — 八幡山ロープウェイ(村雲御所瑞龍寺) — かわらミュージアム — 西国31番札所長命寺 — 市内宿泊地

2日目 >>
宿泊地出発 — 浄厳院 — 北川湧水 — 西の湖水郷めぐり — (昼食) — 桑實寺 — 観音寺城跡・西国32番札所観音正寺 — 教林坊 — 石寺楽市 — JR安土駅

ま

～四季のまつり～
歳時記

- 4月:** 沙沙貴まつり(沙沙貴神社) / 第1土日曜
八幡まつり(日牟禮八幡宮) / 14・15日
14日の松明まつりでは、境内に並んだ大小さまざまな松明が奉火され、15日の太鼓まつりでは、大太鼓の宮入りが行われます。
- 5月:** 篠田の花火(篠田神社) / 4日
江戸時代に起源を持つとされる伝統花火。毎年異なる題材の花火絵が奉納され、しみじみとした感動を与えます。
- 足伏走馬(賀茂神社) / 6日(平日の場合、6日以降の最初の日曜)**
- 6月:** あづち信長まつり(安土山周辺) / 上旬
- 7月:** 浅小井祇園祭(浅小井町) / 第3土日曜
- 8月:** 伊崎の竿飛び(伊崎寺) / 1日
八幡てんびんまつり(近江八幡市役所周辺) / 第1日曜
- 9月:** 八幡堀まつり(八幡堀周辺) / 中旬
- 10月:** 近江源氏祭(沙沙貴神社)
- 11月:** 教林坊紅葉ライトアップ(教林坊) / 11月中旬～12月上旬
- 2月:** 近江八幡節句人形めぐり(市立資料館ほか) / 2月中旬～3月中旬
- 3月:** 左義長まつり(日牟禮八幡宮) / 14・15日に近い土日曜
湖国に春を告げる祭。その年の干支にちなんだ13基の左義長が2日間にわたる日市街地を巡行し、2日目の夜に奉火されます。



近江八幡漫遊

おう み は ち ま ん

滋賀のんびり旅

～住んでよかったまち 訪ねてよかったまち もう一度訪れたいまち～

近江八幡は、自然の恵みや先人たちが創り出した文化、それらを受け継ぎ今を生きる人々の営みが一つとなって響きあう、風情輝くまちです。

桜かほる、春



かつて近江守護佐々木六角氏の城下町として栄えた地に、天下布武を掲げ絢爛豪華な安土城を築城した、戦国の名将「織田信長」。己を信じ己の思うままを貫いた、その生き様、気高き桜花のごとし。

織田信長が天下統一を夢見て、
豊臣秀次が築いた近江商人のふるさと



信長亡き後、八幡山城を築城し、商都としての発展を目指した、豊臣秀吉の甥「豊臣秀次」。城の防備と湖上交通を両立させた八幡堀を整備、その発想、しなやかな水のごとし。

水うつくし、夏

ええもん

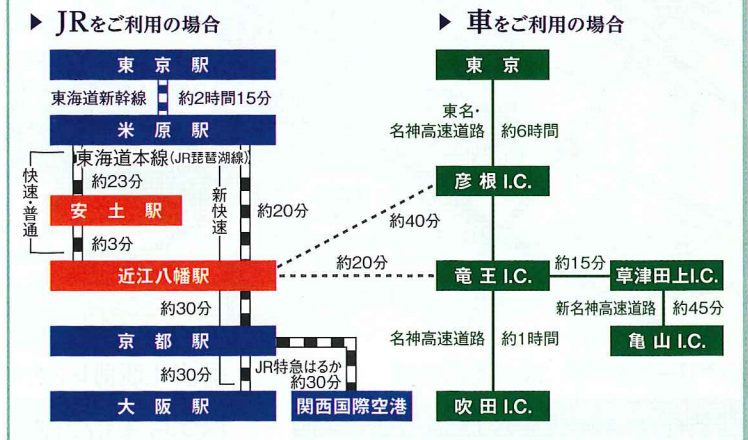
近江八幡特産品

近江八幡には、豊かな大地からの恵みや長い歴史の中で生み出された特産品が多くあります。代表的なものでは、日本の三大牛の一つに数えられる「近江牛」、織田信長ゆかりの「赤こんにゃく」、近江商人ゆかりの「丁稚羊羹」、「丁字麩」、琵琶湖の恵みの「近江米」や「湖魚佃煮」などがあります。近年は、環境こだわり品として、ヨシうどんやヨシジェラードなど、ヨシを使った食品もおすすです。

工芸品では、奈良時代からの歴史がある「押し絵」、聖徳太子からの伝授といわれる「八幡数珠」、商人の町並みには欠かせない「八幡瓦」、「竹工芸品」、「八幡靴」のほか、水郷地帯に群生するヨシを使用したヨシ紙やスダレなど、数多くの地場産品があります。



交通アクセス (車・電車)

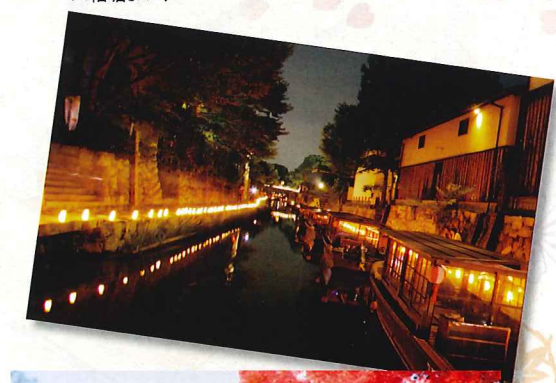


▶ 駐車場をご利用の場合

種別	大型(マイクロバス含む)		普通車(軽自動車含む)	
	収容台数	料金(1回)	収容台数	料金(1回)
A.市営小幡観光駐車場	7台(最大8台)	2,000円	17台(最大22台)	500円
B.市営多賀観光駐車場	7台(最大10台)	2,000円	43台(最大57台)	500円
C.安土城跡前駐車場	最大30台	2,000円	最大180台	500円

※営業時間 9:00～17:00(予約不可)

紅葉うるわし、秋



八幡堀を足がかりに、江戸や大坂、海外にまで進出し商才を発揮した「八幡商人」。信用を第一とし、自らの利益のみならず社会貢献に努めた、その精神、いとうるわし。

雪華まふ、冬



格子戸や見越しの松、うだつなど、往時の風情を今に伝える「八幡重要伝統的建造物群保存地区」。時とともに町や人が移ろうとも、この地で受け継がれる先人たちの教えと郷土愛、降り積もる雪華のごとし。

お

織田信長

天下布武を掲げ、乱世を駆け抜けた信長 国を動かした英雄はここから旅立った

①安土城跡



織田信長が天正4年(1576年)丹羽長秀に命じ、約6年の歳月をかけて築城し、絢爛豪華な城郭だったと伝えられる安土城。現在は、重厚な石垣や礎石が残り、国特別史跡に指定されています。

入山料 大人500円、小中学生100円
入山時間 9:00~17:00(入山16:00まで)
休館日 無し
TEL 0748-46-4234(安土駅前観光案内所)

②安土城天主 信長の館



1992年スペイン・セビリア万博日本館のメイン展示物として出展された、安土城天主最上部5階6階部分が原寸大にて内部障壁画とともに復元されています。金箔や鯉、障壁画などその壮麗な姿は、当時の宣教師によって欧州まで伝えられました。

入館料 大人500円、高大生300円、小中学生150円
開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)
休館日 月(祝除く)・月が祝/振休の場合は翌日・年末年始
TEL 0748-46-6512
※安土城考古博物館との共通券あり

③滋賀県立安土城考古博物館



近江風土記の丘の一角にある西欧風の博物館。館内では弥生時代~古墳時代の生活様式を再現・展示しているほか、信長と安土城に関する資料を豊富に展示しています。

入館料(常設展) 大人400円、高大生250円、小中学生無料(企画展・特別陳列・特別展は別料金)
開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)
休館日 月(祝除く)・月が祝/振休の場合は翌日・年末年始
TEL 0748-46-2424
※信長の館との共通券あり

④安土城郭資料館



内部まで精巧に1/20に復元した幻の名城「安土城」が展示され、映像にて城を詳しく解説しています。安土桃山時代の屏風絵陶板壁画に囲まれて、エスプレッソコーヒーも楽しめます。

入館料 大人200円、高大生150円、小中学生100円
開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)
休館日 月(祝除く)・月が祝/振休の場合は翌日・年末年始
TEL 0748-46-5616

⑤浄厳院



信長が安土城下に建立した寺院。本堂を始め七つの重要文化財を所有しています。また、天正7年(1579年)に、浄土宗と法華宗の間で「安土問答」が行われた寺として有名です。

拝観料 大人300円
開門時間 9:00~16:30(要予約)
TEL 0748-46-2242、0748-46-5435

⑥セミナーヨ跡



信長の庇護を受けたイタリア人宣教師オルガンチノによって、天正9年(1581年)に創建された日本最初のキリシタン神学校推定地。安土城炎上の際に焼失し、現在は一部が公園として整備されています。

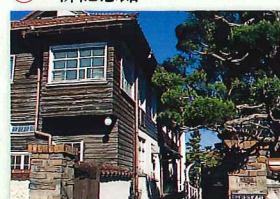
近江八幡を深く愛したヴォーリズ、その軌跡と精神が息づくまち

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ / 日本名 柳米来留(1880-1964)

和の文化が色濃く残る近江八幡ですが、まちの中には異国情緒ある洋風建築が数多くあります。それらの建築の設計を手がけたのが、ウィリアム・メレル・ヴォーリズであり、明治38年、滋賀県立商業高校(現八幡商業高校)に英語教師として来日しました。来日後、熱心なキリスト教伝道活動を行うとともに、「建物の風格は、人間と同じくその外見よりもむしろその内容にある」との信条で、全国で約1600に及ぶ建築設計に携わりました。

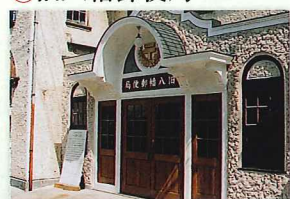
メンソレータム(現メンターム)を日本に輸入した人物でもあり、当時不治の病として恐れられた結核治療を目的とした近江サナトリウム(現ヴォーリズ記念病院)の建設、さらには、市内の子どものための教育の場として、図書館や近江兄弟社学園の設立など、多岐にわたる社会貢献事業を展開しました。「近江八幡は世界の中心」との思いで、近江八幡のまちを深く愛したヴォーリズの軌跡と精神は、今もこの地で生き続けています。

⑦一柳記念館(通称ヴォーリズ記念館)



かつてのヴォーリズ夫妻宅であり、彼らゆかりの品々を展示。事前に要電話予約。
入館料 無料
開館時間 10:00~16:00(要電話予約)
休館日 月・祝・その他不定休
TEL 0748-32-2456

⑧旧八幡郵便局



大正期のヴォーリズ建築の一つ。現在、NPO法人ヴォーリズ建築保存再生運動「一粒の会」の事務所として使用され、内部見学可能。
TEL 0748-33-6521

⑨池田町洋風住宅街



アメリカの開拓時代を象徴するコロニアルスタイルで、レンガ塀・高い煙突・広々とした庭などが特徴。見学は外観のみ。

⑩旧伊庭家住宅



大正2年建築の和洋式木造住宅。住友財閥2代目総理事である伊庭貞剛の四男慎吉の邸宅として建てられました。期日限定で一般公開を予定。
TEL 近江八幡市地域文化課 0748-33-3111(代)

う

ヴォーリズ・メレル



まん

万葉ロマン

万葉ロマンに誘われ、いにしえより変わらぬ信仰の地を巡る

⑲桑實寺



西国薬師霊場第46番札所。天智天皇の勅願により創建。初代定恵和尚が唐から桑の実を持ち帰り、日本で最初に養蚕を始めたことが寺名の由来といわれています。本堂と「桑實寺縁起絵巻」は、重要文化財に指定されています。

入山料 大人300円、小人150円
入山時間 9:00~17:00(12月~2月16:30まで)
TEL 0748-46-2560、0748-46-4025

⑳老蘇森 奥石神社



老蘇の森は、万葉の昔から歌に詠まれてきた名高い森で、国の史跡にも指定されています。森の中には、叡山(観音寺山)をご神体とした安産延寿・狩猟・農耕の神様である奥石神社があり、本殿は、重要文化財に指定されています。

TEL 0748-46-2481

ひとこえは 思ひ出になけ ほととぎす
老蘇の森の 夜半のむかしを
(紀伊守範光/平家物語)

身のよそに いつまでか見ん 東路の
老蘇の森に ふれる白雪
(賀茂真淵)

夜半ならば 老蘇の森の 郭公
今もなかし 忍び音のころ
(本居宣長)

㉑賀茂神社



約1300年前、全国初の国営放牧場が建設された地に、天平8年(736年)、聖武天皇により、創建。馬の聖地として名高く、吉備備ゆかりの神社です。安産・子授・縁結の靈験。5月の賀茂祭で行われる「足伏走馬」は、宮中の競馬行事を今に伝える、千年以上の歴史をもつ由緒ある神事です。

TEL 0748-33-0123

㉒沙沙貴神社



古代の豪族、狭狭城山君の氏神とされ、平安時代中期以降は、近江源氏佐々木氏の氏神として崇拝されました。本殿をはじめ八棟の県指定文化財を所有し、境内を彩る四季折々の花々が美しく、4月の沙沙貴まつりなどが有名です。

TEL 0748-46-3564

㉓岩戸山十三仏



箕作山の南端の巨大な一枚岩に、聖徳太子が刻んだとされる十三体の仏像が安置されています。毎年4月には千日会が行われ、信仰厚い人々で賑わいます。頂上からの眺めは絶景です。

TEL 0748-46-4234(安土駅前観光案内所)

随筆家 白州正子が愛した近江、「かくれ里」・「近江山河抄」ゆかりの古刹を訪ねて

白州 正子 (1910-1998) 近江をこよなく愛し、その豊かで繊細な感性のもと筆を走らせた随筆家

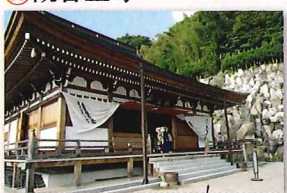
白州正子は、明治43年(1910年)、樺山愛輔の次女として生を受けます。史上初めて女性として能舞台に立ち、小林秀雄や青山二郎といった一流文化人と交流しながら、日本文化に関する随筆を多く手がけました。自ら各地を旅し、その土地に息づく自然や文化の持つ美しさを、豊かで繊細な感性で文章につづり、今なお多くの人々を惹きつけています。

㉔長命寺



西国31番札所。寺伝によると、約1800年前、景行天皇時代に活躍した武内宿禰が本山で長寿を願ったところ、300歳以上の寿命を得たといわれ、その後、聖徳太子により長命寺と名づけられたとされています。808段の石段を登ると、本堂・三重塔・鐘楼・護摩堂が連なり、境内からは雄大な琵琶湖を望むことができます。近年、紫陽花の寺としても有名です。
TEL 0748-33-0031

㉕観音正寺



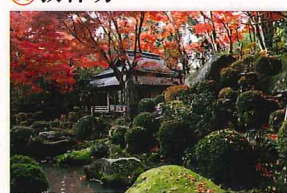
西国32番札所。605年、人魚の哀願により、聖徳太子が建立したと伝えられています。インドの白檀を使用した高さ6mの千手千眼観世音菩薩像が安置されています。
入山料 無料(内陣/拝観料300円)
TEL 0748-46-2549

㉖観音寺城跡



叡山(観音寺山)の山中には、中世に近江を支配した佐々木六角氏の居城、観音寺城跡があります。全山を城域とする山手千眼観世音菩薩像が安置されています。現在も石垣や礎石が残り、日本百名城の一つです。

㉗教林坊



石寺の集落奥にひっそりとたたずむ古寺。巨石を配した庭園は、小堀遠州の作庭と伝えられ、安土桃山時代から江戸初期にかけての豪壮で清雅な趣があります。紅葉と竹林の名刹です。
拝観料 大人500円、小中学生200円
※通常、土日祝のみ拝観可能。11月1日~12月10日は平日も拝観可能。駐車場(普通車50台、バス4台)は要予約。
TEL 0748-46-2549

白州正子と

近江のかくれ里

はち はち ハ幡商人

売り手よし、買い手よし、世間よし 三方よしの精神を受け継ぐ近江商人のふるさと

19 市立資料館



郷土資料館・歴史民俗資料館・旧伴家住宅・旧西川家住宅(重要文化財)の4館で構成。近江商人の質素儉約・質実剛健な暮らしぶりを肌で感じることができます。

入館料 大人500円、小人300円(4館共通)
開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)
休館日 月(祝除く)・祝翌日(土日祝除く)・年末年始
※観光シーズンは休館日なしの場合あり
TEL 0748-32-7048

20 日牟禮八幡宮



近江商人の守護神として、千有余年の歴史を誇る神社であり、人々の厚い信仰と加護により繁栄し続け、今日に至ります。かつて若干20歳でベトナムに渡り、海外貿易で名を馳せた近江商人 西村太郎右衛門が寄進した「安南渡海船額」をはじめ、多くの重要文化財が納められています。3月に左義長まつり、4月に八幡まつりが開催される神社としても有名です。

TEL 0748-32-3151

21 白雲館(観光案内所)



明治10年、近江商人たちにより、子どもの教育充実を図るために建てられた、八幡東学校。その費用のほとんどが寄付で賄われ、当時にして6,000円が集められました。現在は、観光案内所が併設された市民ギャラリーとして利用されています。(市登録文化財)

入館料 無料
開館時間 9:00~17:00 休館日 年末年始
TEL 0748-32-6181

22 かわらミュージアム



国内でも珍しい瓦専門の展示館。近江八幡の地場産業である八幡瓦を中心に世界の瓦などを紹介。ミュージアムそのものに瓦の魅力が活かされ、趣きある建物となっています。瓦粘土を使った体験教室(要予約)も開催しています。

入館料 大人300円、小人200円
開館時間 9:00~17:00(入館16:30まで)
休館日 月(祝除く)・祝翌日(土日祝除く)・年末年始
※観光シーズンは休館日なしの場合あり
TEL 0748-33-8567

23 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA



滋賀県社会福祉事業団が主体となり、重要伝統的建造物群保存地区に残る、近江商人の一人 野間清六の分家を改装。平成16年に、障がい者アートの発信地として開館し、注目されています。

入館料 200円(常設展)
開館時間 10:00~17:00
休館日 月(祝除く)・祝翌日(土日祝除く)・年末年始
TEL 0748-36-5018

24 曳山とイ草の館



近江商人が取り扱った代表的産物「畳表」の製作道具やその材料となるイ草の栽培方法等が展示紹介されています。館内には、毎年、7月の第3土曜日に開催される浅小井祇園まつり(曳山まつり)で巡行する曳山(6基)も展示されています。イ草・湧水・まちづくりをテーマとした資料館です。

入館料 大人300円、小人150円(小中高)
開館時間 10:00~17:00
TEL 0748-33-0559

江戸時代、五街道の一つに数えられた中山道

伊庭 貞剛 (1847-1926) 住友財閥を育て100年前に環境問題考えた実業家



©伊庭貞剛(近江八幡市勢要覧より抜粋)

弘化4年(1847年)、現在の近江八幡市西宿町に生まれ育ちました。22歳で司法官に任命され各地で活躍しますが、官界に失望し十年で退職。故郷に帰る挨拶に叔父の広瀬幸平(住友初代総理事)を訪ねた際に誘われ、住友に入社。当時、住友は労使対立や別子銅山が抱える公害問題等の対応に苦慮していましたが、貞剛の粘り強い努力により解決へと向かいます。特に公害問題への取り組みは、足尾銅山問題に奔走した田中正造も絶賛しました。

後に、住友第二代総理事に就任し、現在の三井住友銀行・住友金属・住友電工・住友軽金属等を設立し、住友グループの基盤を築きました。明治23年には第1回帝国議会の衆議院議員として当選し、政治の分野でも活躍。その後、若い世代に将来を託し、4年で総理事を退任、大正15年(1926年)に79歳で永眠しました。貞剛の生家跡は、当時からある楠の大木を象徴とした「いばecoひろば」として整備され、人々の安らぎの場となっています。

26 本願寺八幡別院



市内唯一の大寺院。関が原の合戦で勝利を収めた徳川家康の上洛の際に宿泊場所となりました。八幡商人は、大坂の陣で家康を助けたとされ、家康にとっても、思い入れのある土地であったと思われます。また、朝鮮通信使の休憩場所や食事場所としても使用され、侍従官 李南岡の詞書が残されています。

TEL 0748-33-2466

朝鮮から江戸へ 日朝友好の道、朝鮮人街道

江戸時代、日本は鎖国にありながら、朝鮮と琉球は、信を通わす外交のある国「通信の国」とし、中国とオランダは、貿易船の来航を認める「通商の国」として、国交がありました。豊臣秀吉の朝鮮侵略以後、関係が断絶していた朝鮮半島との国交回復を願った徳川家康は、対馬藩を通じて朝鮮へ幾度と使者を送り、関係回復に努めます。慶長12年(1607年)、正式に使節を迎え入れることとなり、以後、文化8年(1811年)までの間、計12回の通信使が日本を訪れました。その朝鮮からの使節「朝鮮通信使」が江戸まで通った道が「朝鮮人街道」と呼ばれ、今もその名を残しています。

朝鮮人街道の起りは、織田信長が安土城築城の際に、京都までの道を結んだことによるとされます。中山道の「上街道」に対し、「下街道」と呼ばれたほか、琵琶湖岸を走ることから「浜街道」とも呼ばれました。朝鮮通信使は、文化使節的な面も持ち、学者や文人、画家や書道家達も同行するなど、当時の日本文化に大きな刺激を与えたと思われます。

25 近江中山道 武佐宿



江戸時代、人と物資が盛んに往来し賑わった宿場町。虫窓や格子を巡らせた古い家並みと辻に残る石の道標が、当時の名残を留めています。かつて、武佐榊、武佐墨等の特産品があったと伝えられ、当地で発見され名づけられた武者竜胆があります。

人、物行き交う 中山道、朝鮮人街道

み 水のさと

豊かな水と緑に恵まれ、水とともに生きるまち

11 八幡堀

近江八幡のまちが発展した理由はいくつかありますが、八幡堀の役割を欠かすことはできません。堀は城を防御するために存在しますが、豊臣秀次は、この八幡堀を運河として利用することを考え、琵琶湖を往来する船をすべて八幡の町に寄港させました。また、八幡山城下はかつての安土と同じく、楽市楽座を取り入れたことから、商人の町として大いに活気づきました。

多くの商人が八幡の町から全国へと旅立ち、近江商人として活躍した原動力となった八幡堀も、昭和30年頃になると高度経済成長期に入り、人々の生活は変化し、次第に市民の関心も薄らいできました。やがて、八幡堀はドブ川のようになり、埋め立ての計画も持ち上がります。しかし、「八幡堀は埋めた瞬間から後悔が始まる」の合言葉により、市民が立ち上がり、清掃活動に取り組みました。その結果、次第にかつての姿を取り戻すようになり、今日でも各種団体による清掃活動が続けられています。

現在、写真や絵画の愛好家などが数多く訪れ、時代劇のロケ地としても頻繁に活用されるなど、市民の憩いの場であり、近江八幡の代表的観光地に位置づけられています。



春の八幡堀



ロケ風景

昭和40年代後半(明治橋からの風景)



現在の八幡堀(同風景)

12 村雲御所瑞龍寺



村雲御所瑞龍寺の開山は、高野山で自害させられた豊臣秀次の菩提を弔うため、生母の瑞龍院日秀尼公が、文禄5年(1596年)、京都の村雲に創建。昭和36年に八幡山に移築され、山頂からは、安土山や琵琶湖、水郷地帯の眺望が楽しめます。

TEL 0748-32-3323

13 沖島



沖島全景

日本最大の湖「琵琶湖」に浮かぶ最大の島「沖島」。湖上の島に人が住み生活を営むことは、世界的にも珍しいとされます。源氏の落人が住んだことから島の歴史は始まるといわれ、周囲6.8km、面積1.5km²の島の中には、小学校や郵便局、寺社、民宿があります。大半の島民は漁業に携わり、素朴で温かい島の生活が今も営まれています。

※沖島へは堀切新港から定期船が出ています。

14 宮ヶ浜水浴場



環境省がまとめた「日本の水浴場88選」の一つ。水際まで芝生があり、遠浅のビーチ付近一帯はプレジャーボート乗入禁止区域であり、子ども連れでも安心です。

15 北川湧水



室町時代、常楽寺港として栄えたこの地区には、数多くの湧水が当時の姿を残しながら流れています。

16 常浜



室町時代、観音寺城の外港で港町として栄えた常浜。昭和初期まで琵琶湖を周遊する蒸気船の寄港地として活気にあふれ、現在は公園として整備され、市民の憩いの場となっています。別名「錠の橋」とも言われています。

17 梅の川



かつて西の湖にそそいだ湧水の一つ。信長の家臣である武井夕庵がこの水で点じた茶を献上したところ、信長が大変気に入り、この地で茶会を催す際には、好んで梅の川の水を用いたと伝えられています。

水郷の四季にヨシの薫りと、水面をわたる風を感じて

18 水郷

西の湖を中心とした水郷地帯は、「春色 安土八幡の水郷」として琵琶湖八景の一つに数えられ、群生するヨシの中をカイツブリやヨシキリなどのさえずりとともに楽しめる水郷めぐり。春夏秋冬の情緒を五感で味わうことができ、都会の喧騒を忘れてのんびりとしたひとときを過ごせると、多くの人に喜ばれています。

近年では、ヨシが果たす水質浄化や生態系の面からもその重要性が目され、平成18年1月、当地域は全国初の重要な文化的景観に選ばれました。平成20年10月に、ラムサール条約湿地として西の湖と長命寺川が登録され、平成21年1月には、「白王・円山」が日本の里100選に選ばれるなど、その貴重な水環境は国内外から高く評価されています。日本の原風景ともいえるこの雄大な自然は、「日本一の水郷」として、人々の心ふるさととの温かさをもたらす、癒しの世界へと誘います。

※水郷めぐりは4業者が運航しています。(平成23年3月現在)



春



夏



秋



冬

水郷めぐり

I 八幡堀周辺



II 安土駅前周辺



豊臣秀次

ひでつぐ
豊臣秀吉の姉どもの長男で秀吉の養子。信長亡き後、秀次は八幡山城築城とともに八幡堀を掘削して湖上交通の要衝とし、安土や近郷の住民を八幡山城下に集め、楽市楽座制を取り入れて商業都市としての礎を築きました。後に、関白職を継ぎましたが、秀吉に秀頼が生まれたことにより、謀反の罪を着せられ、自害させられました。彼の手がけたまちづくり精神は今日まで引き継がれ、NPO法人秀次倶楽部などの団体により顕彰され、八幡開町の祖として慕われています。

【観光ボランティアガイド】

2名様以上のグループで5日前までにお申込みいただきますと市内をガイドいたします。(交通費としてガイド1名につき1,000円ご負担願います。)

お申込みは…

近江八幡駅北口観光案内所
TEL 0748-33-6061

安土駅前観光案内所
TEL 0748-46-4234

36 近江八幡和船観光協同組合

手こぎ舟
元祖 近江八幡水郷めぐり

舟のゆば: 近江八幡市北之庄町880 (豊年橋和船のゆば回)

TEL.0748-32-2564
http://www.suigou-meguri.com

37 休暇村 近江八幡

National Park Resort 休暇村
近江牛と温泉とロケーションが自慢の琵琶湖畔の宿

休暇村近江八幡
TEL.0748-32-3138
ホームページ http://www.qkamura.or.jp/ohmi/

38 ホテルニューオウミ

JR 近江八幡駅よりすぐ
—秀次の城下町、信長の安土城、戦国が息づく地—

- チェックイン: 14:00
- チェックアウト: 11:00
- ご宿泊の方は駐車場を無料でご利用頂けます。
- ご予約・お問い合わせ TEL.0748-36-6666 (代) FAX.0748-36-8800

落ち着いた色調と上質のインテリア、くつろぎの時間を歴史の町とともに…

Hotel New Omi ホテルニューオウミ
〒523-0811 滋賀県近江八幡市鹿町1481番地
ホームページ http://www.newomi.co.jp

39 グリーンホテル Yes 近江八幡

グリーンホテル Yes 近江八幡
ホテル直営レストラン 是的 菜館 (シードサイカン)

〒523-0894 近江八幡市中村町21-6
TEL.0748-32-8180
http://www.gh-y.com

レストラン ランチタイム 11:30~14:00
ディナータイム 17:30~21:00
大浴場外来受付時間 11:00~19:00

県外からもお越しいただける中国料理レストラン、体の芯から温まる温泉は地元でも好評です。20名様から100名様が入れる大・小宴会場も日本料理と中国料理の折衷料理でお楽しみ頂けます。(宴会は1週間前までの要予約)

40 安土駅前レンタサイクル たかしま

安土駅前レンタサイクル
たかしま ☎0748-46-3266

- 1時間: 200円~
- 団体・予約割引有り
- 18~27インチ
- 手荷物預り

JR安土駅真正面!!

貸自転車 観光コース案内 手荷物預り

3 滋賀県立安土城考古博物館

滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 近江八幡市安土町下豊浦6678
TEL.0748-46-2424
http://www.azuchi-museum.or.jp

【開館時間】午前9:00~午後5:00まで ※入館は午後4:30まで
【休館日】月曜日 ※月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日
12/28~1/4まで